

令和4年度生野区区政会議(第2回こどもの未来部会)

主なご意見等(要約)と区の考え方、対応

開催日:令和4年10月28日(金)

場所:生野区役所6階 604・605会議室

ご意見等(要約)	区の考え方、対応(要約)
<p>企業と小中学生、障がいのある方のNPOも生野区は多いと思う。こういう人たちと本気でコラボして商品を開発して売れるものをつくり、他の地域にも売り込んでいかないといけないのではと思うし、区役所が頑張してほしい。</p>	<p>10月28日報道発表の「IKUNO×ものづくり×ICT 次世代の職業体験プログラム」において、株式会社ダイヤのご協力の元、桃谷中学校生のキャリア教育など学校支援を推進してきたところです。同様に企業とNPO、学生間のマッチングについては今後とも、様々な手法を検討し、推進してまいります。</p>
<p>子育てしやすいことのアピールで、区内で自分たちのイベントをどのように知らせていくかが課題にある。区内のこともだけでなく、地域のだんじりや夏まつり、秋まつりなど生野区のイベントを区外にアピールができる媒体は何かないのか。</p>	<p>区の広報活動として、広報いくのをはじめ、twitterやFacebookなどを活用していますが、タイムリーな話題を発信する場合には、官民連携で立ち上げた「いくのぐらし.com」というサイトもあることから、様々な情報媒体を活用して、生野区のイベント情報について、広くお届けできるように工夫を凝らしてまいります。</p>
<p>住んでいる人に生野区の魅力の発信が必要と思った。生野区の魅力をPRすると来てくれるが、住まない。住むことに対する直接的な補助はあった方がいいと思う。コリアタウンに来る人に、空き家等を活用して、お試しで住んでもらい、生野の魅力を知ってもらいたいなことはできないのか。</p>	<p>生野区に住んでいる方のまちへの愛着が高まるように、そして外部の方に生野区のまちに住んでみたいと思ってもらえるように、区役所としてもまちの魅力向上に向けた取組を続けるとともに、区内外にしっかり伝えてまいります。また、利用可能な空家等を地域資源として捉え、まちづくりの一環として地域活性化に取り組み、まちの魅力向上等に繋げる必要があると考えております。空き家の利活用として、オーナーと活用希望者とのマッチングについては民間事業者と連携し、所有者へアプローチを行い、具体的なニーズに対応しながら空家の活用を促すなど、様々な手法をもって利活用の促進を進めてまいります。</p>
<p>空き家がコインパーキングに代わってる。空き家を活用し企業の創業や起業につなげないと、子育て世代を呼び込んでいくことに繋がっていかないかと思う。</p>	<p>空き家を放置していると、いわゆる「特定空家」になることから、利用可能な空家等を地域資源として捉え、まちづくりの一環として地域活性化に取り組み、まちの魅力向上等に繋げる必要があると考えており、様々な関係機関や民間事業者と連携し、空き家の活用を促してまいります。</p>
<p>生野区の魅力を他区で宣伝してはどうかと思う。大阪市で人気の区の魅力の理由を分析して、生野区の魅力とは何か考えたい。</p>	<p>今後、全国的にも人口減少が見込まれる中ではありますが、生野区のまちの特色が活かされ、住んでいる方やそうでない方にもより愛着をもっていただけるような魅力あるまちになるように取り組んでまいります。</p>
<p>生野区に移り住んでもらいたい、ということだが、他の区が減ってもいいのか、生野区だけよかったらいいのかと思う。取り合いをするよりも、今の人を大切に、結果人が増えましたということの方がいいのではと思う。</p>	